

Manabe, S. and R.T. Wetherald, 1967: Thermal equilibrium of the atmosphere with a given distribution of relative humidity, J. Atmos. Sci., 24, 241-259.

三原義秋, 1980: 温室設計の基礎と実際, 養賢堂,

pp. 273.

SMIC, 1971: Inadvertent climate modification, Report of the study of man's impact on climate, MIT Press, 309 pp.

## 支部だより

### 関西支部 昭和61年度 第4回例会および講演会の報告

第4回例会および講演会は「産業と気象」というテーマで、日本農業気象会近畿支部と共催のかたちにより昭和62年3月16日(月)、大阪管区気象台において開催された。

先ず廣田支部長の農業気象学会との共催における気象学のそれぞれの係わりあいとその展望に触れたあいさつがあり、続いて小元日本農業気象学会近畿支部長の「応用気象分野における気象データ」と題した、データの質に関連する基本的な問題の扱いを論じた講演があった。

例会発表は次の通り。

1. 京都府南部の霜予想についての基礎調査  
吉野昌史(京都地方気象台)
2. 半月平均 500 mb 高度データの利用

馬場雅一(大阪管区気象台)

3. 近年の春から夏にかけての極東域における中・低緯度の大気循環の特徴

楠木英典(高松地方気象台)

4. 傾斜地のブドウハウス群が周辺環境に及ぼす影響  
原園芳信, 矢吹万寿(大阪府立大学農学部)

5. 気候統計項目について月別, 標準気温と振幅, および温暖示数・酷寒示数  
西内 光

比較的討論時間に余裕があったため、相互につっこんだやりとりも見られた。

しめくりは共催による催しは喜ばしいことで今後も機会をみつけて行っていきたいとした小元近畿支部長のあいさつで閉会した。



### 「本だな」について

近頃は、気象に関連する本の出版が相次ぎ、「本だな」のページも毎号、盛況で「満員御礼」(札どめではありません)といったところです。最近、この欄についての投稿について2~3の方から問い合わせを受けましたので簡単に解説することにします。

本欄は、特定の書評担当者に依頼しているわけではなく、会員の皆様の自由な投稿(自薦, 他薦を問いません)が基本です。また、これとは別に、編集委員会(学会)あてに書評依頼または寄贈があった場合、委員会で適当

と判断したものについて適任と思われる方に依頼することがあります。

採用するにあたっては、担当委員の判断で若干の加筆、修正をお願いすることもあります。おおむね、そのままを掲載しています。「天気」に不相当との判断は、編集委員会で行います。

大都市はともかく、地方では新刊の入手が難しい状況もあるようです。ひきつづき積極的な投稿をお願いします。また、最近では調査、研究に個人レベルでパソコン等情報処理機器を使うことも多くなっています。会員に役立つこの方面の情報も歓迎します。なお、原稿の長さは、投稿規定にあるように1ページ以内(400字づめの原稿用紙4枚程度)をお願いします。

(担当委員 高瀬邦夫)